

# 包装資材の削減

## 容器包装をなるべく使わない販売への取り組み（発生抑制）

容器包装リサイクル法が改正され、今後さらに容器包装の使用削減、リサイクルの推進などが求められてきます。家庭から排出されるゴミの約60%が容器包装だといわれていますが、CO<sub>2</sub>の発生など環境負荷の大きな廃棄物の排出抑制のために、ユニーはお客様と一緒に「レジ袋を使わない買い物」を推進しています。また、レジ袋の素材「限りある化石資源」である石油の節約にもなります。

### ノーレジ袋キャンペーン

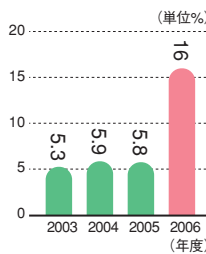
ユニーでは1989年より「お買い物袋持参運動」を進めてきましたが、買い物袋持参率が5%前後で停滞していました。そこで、より多くのお客様に知っていただき参加していただくために、2006年より「ノーレジ袋キャンペーン」を展開しました。店舗での掲示物や館内放送でのPR、環境月間や毎月5日の「ノーレジ袋の日」、毎週火曜日には、Wスタンプデーの実施などにより、お買い物袋を持参するお客様が増えました。

#### エコバスケットのご利用開始

「バスケットでお買い物をすれば、レジ袋が要らないし、マイバッグに詰め替えなくても良く、便利でスピーディー。」というお客様からの声にお応えして、2006年9月からエコバスケットのご利用を開始しました。ご不要になったエコバスケットはお引き取りします。



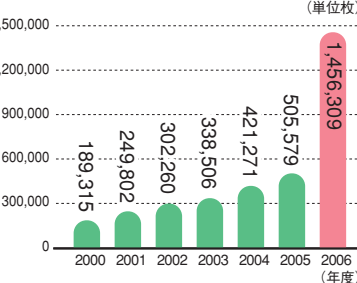
#### ユニー全社のレジ袋辞退率の推移



#### ユニー全社のレジ袋使用枚数

年度	使用枚数 (単位千枚)
2000年度	357,345
2001年度	325,470
2002年度	327,701
2003年度	320,744
2004年度	326,067
2005年度	340,611
2006年度	333,630

#### スタンプカード発行枚数



### お買物レジ袋削減への取り組み

#### レジ袋のサイズや配布の見直しを実施

お買い物袋持参運動から「ノーレジ袋キャンペーン」の展開、お客様の参加が増加すると共に、レジ袋の使用枚数が削減されてきました。こうした環境保全活動をたくさんのお客様が実施していただくことで、使い終わったレジ袋の削減や、原料や製造に使用する石油の節約につながります。

#### レジ袋使用量・重量の推移 (全サイズのレジ袋の重量)

年度	取り組み	重量 (t)
2000年度	1枚当たり重量の軽量化を図るため薄くて強い袋に改善	2,508t
2001年度	レジ袋各サイズの容量の見直しを検討	2,280t
2002年度	新サイズに切り替え使用枚数削減	2,403t
2003年度	お客様に適正枚数配布の教育実施	2,329t
2004年度	従業員全員にマイバッグ配布	2,242t
2005年度	愛・地球博エコマネーに参加	2,195t
2006年度	ノーレジ袋キャンペーン開始	2,075t

※環境レポート2006年度版は食品レジ使用分のみ

### 容器包装リサイクル法への対応

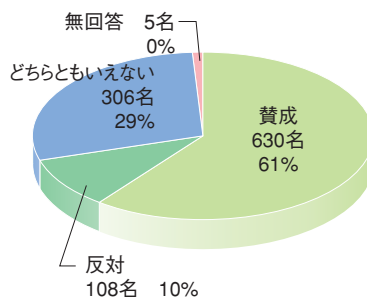
包装資材の使用削減をお客様と一緒に進めていますが、容器包装リサイクル委託料は年々増加しています。今後も、できるかぎり包装資材を使わないお買い物を推進し、使い終わった容器包装の回収リサイクルに努めます。

年度	金額 (万円)
2000年度	7,100万円
2001年度	1億2,100万円
2002年度	1億1,800万円
2003年度	1億4,900万円
2004年度	2億135万円
2005年度	2億5,487万円
2006年度	2億7,322万円
2007年度	2億9,729万円

### レジ袋削減に関するお客様のアンケート

2007年4月5日に各地区から25店舗を選び、1,049名のお客様に店内でアンケート調査を実施しました。お客様の来店交通手段や、自宅からもしくは通勤や外出先からの来店などの条件により、マイバッグの持参率に差があることなど、今後のレジ袋削減への対応へのヒントになりました。また、レジ袋有料化に関しては、反対が10%ありましたが、賛成が61%・どちらともいえないが29%と、今後さらに理解が高まると推測されます。

**質問** 地球保全のため、レジ袋を有料にして、お客様に買い物袋持参を呼びかける店舗が増えそうですが、あなたはレジ袋有料化についてどう思いますか？



**質問** あなたはお買い物の際、ご自分の買い物袋を持参されていますか？

